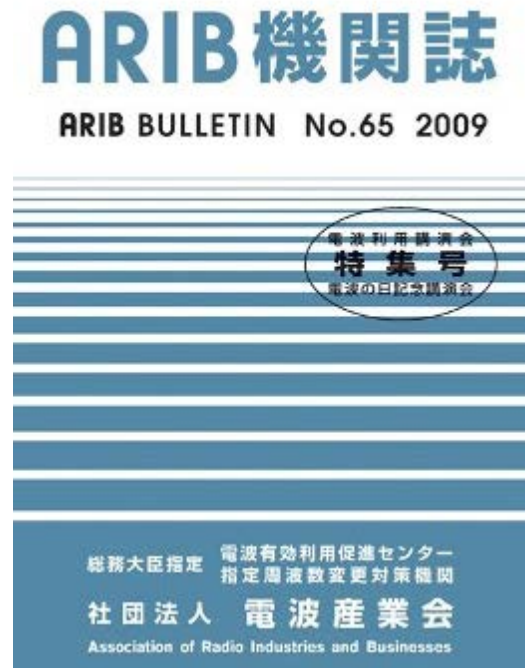


ARIBからのお知らせ

ARIB機関誌No.65「電波の日記念講演会特集号」発行のお知らせ

8月31日付でARIB機関誌No.65「電波の日記念講演会特集号」を発行します。本特集号は、「電波利用の現状と今後の展望」をテーマとして、6月5日に明治記念館において、通信・放送の業界等から約260名の方々の参加のもとで開催された講演を取りまとめたものです。会員の皆様には、8月31日に発送する予定です。講演会は、当会の若尾専務理事の挨拶の後、総務省総合通信基盤局の桜井俊局長による基調講演に続き、電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造事業者の3氏からの講演が行われました。なお、本特集号に記載の講演者の所属及び役職は講演会当日の資料に基づいています。



【特集号の内容】

- | | | | |
|-----|--------------------------------|---------|---------|
| 講演1 | 「基調講演 電波利用の現状と今後の展望」 | | |
| | 総務省 総合通信基盤局 | 局長 | 桜井 俊 氏 |
| 講演2 | 「ソフトバンクの電波利用サービスの将来像」 | | |
| | ソフトバンクモバイル株式会社 | 取締役副社長 | 松本 徹三 氏 |
| 講演3 | 「電波の日を考える 災害報道とラジオ・・・そして、これから」 | | |
| | 株式会社ニッポン放送 | 代表取締役会長 | 重村 一 氏 |
| 講演4 | 「モトローラの日本における取組み」 | | |
| | モトローラ株式会社 | 代表取締役社長 | 小倉 紳治 氏 |

第74回規格会議を開催(続報)

第74回規格会議(平成21年7月29日)における策定又は改定の概要(第6～13項)を、前号に引き続き掲載します。

14 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料

(ARIB STD-T63 Ver.7.30及びARIB TR-T12 Ver.7.30)

2009年3月開催の3GPP TSG第43回会合において承認されたリリース99、リリース4、リリース5、リリース6、リリース7及びリリース8の仕様の追加又は改定を本標準規格及び技術資料に反映しました。

今回の改定のポイントとしては、リリース8に追加された新規番号の技術仕様TS 21.201及びTS 21.202があげられます。

技術仕様TS 21.201は、LTE収容を目的としたSAE(System Architecture Evolution)に係る技術仕様及び技術資料を一覧表としてまとめたものです。

技術仕様TS 21.202は、IP Multimedia System(IMS)に係る技術仕様及び技術資料を一覧表としてまとめたものです。

その他、リリース7、リリース8を中心に、158件の技術仕様及び技術資料について追加又は修正がありました。リリース8は2008年12月開催の3GPP TSG第42回会合において凍結されていることから、特に新しい内容の技術仕様の追加はされませんでした。

15 IMT-2000 MC-CDMA System 標準規格及び技術資料

(ARIB STD-T64 Ver.4.90及びARIB TR-T13 Ver.4.90)

主に2008年10月～2009年4月に3GPP2が制定した仕様を導入するために、改定を行いました。

STD-T64の改定点は、HRPDシステムのセキュリティに関する信号処理プロトコルの規格及びHRPDシステムのVoIP緊急呼に関する信号処理手順の規格の追加並びにOTA仕様の誤記訂正のための改定です。

TR-T13については、内容の改定はありませんが、STD-T64のバージョンにあわせてVer.4.90に改定しました。

16 都道府県・市町村デジタル移動通信システム標準規格 (ARIB STD-T79 3.0版)

「260MHz帯デジタル防災行政無線システムの共同利用等に関する調査検討会」における相互接続試験に基づき、音声通信による応援通信における相互接続性の向上を図るため、相互応援通信の規定を追加し、スーパーフレーム構造規定及び規制情報規定の明確化を行いました。また、あわせて誤記の修正を行いました。

総務省からのお知らせ

CDMA高速データ携帯無線通信システムの高度化に係る
技術的条件についての関係者からの意見聴取

【平成21年8月13日の総務省情報通信報道資料から】

情報通信審議会 情報通信技術分科会では、CDMA高速データ携帯無線通信システム(注)の高度化に係る技術的条件についての検討を行うため、平成21年7月28日から審議を開始し、平成21年12月ごろを目途に答申の取りまとめを行う予定です。

ついては、平成21年9月18日(金)に開催を予定している、情報通信審議会 情報通信技術分科会 携帯電話等周波数有効利用方策委員会において関係者の意見陳述の機会を設けることとしますので、希望する者は下記の要領により申し出てください。

(注) 3GPP2(Third Generation Partnership Project 2)において標準規格としている携帯無線通信システム。

記

1 意見陳述を行える関係者

CDMA高速データ携帯無線通信システムの高度化に係る技術的条件に関し、学識経験又は知見を有する者（国籍を問わない。）。

2 意見陳述の方法

意見陳述は、平成21年9月18日(金)に開催予定の情報通信審議会 情報通信技術分科会携帯電話等周波数有効利用方策委員会において日本語で行うこととします（なお、都合により当日の意見陳述が困難な場合には、文書（日本語に限ります。）による意見の提出も可能とします。）。

3 意見陳述のために必要な手続

意見陳述を行うためには、意見陳述人の氏名（法人又は団体（以下「法人等」という。）の場合は、法人等の名称及び代表者の氏名並びに意見陳述を行う者の役職及び氏名とする。）、職業（法人等の場合は記載を要しな

い。)及び意見の要旨を記した文書を郵便、FAX又はE-mailにより平成21年9月3日(木)18時(必着)までに下記4の提出先に提出してください。審議時間の関係から所要の調整をさせていただくことがあります。
なお、意見陳述を行うために要する費用は、すべて意見陳述人の負担とします。

4 内容の問い合わせ先及び意見の提出先

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課

担当：中里課長補佐、遠藤第二技術係長

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館

電話 (03) -5253-5893

FAX (03) -5253-5946 (電話連絡後、送付願います。)

E-mail enhanced-imt-2000_atmark_ml.soumu.go.jp

(スパムメール防止のため、@を「_atmark_」と表示しています。
メールをお送りになる際には、「_atmark_」を@に直してください。)

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban14_000029.html>をご参照下さい。

編集後記

お盆休みに、東北自動車道を使って里帰りをしてきました。

ETC休日特別割引を利用することを考えていましたが、小職は車にETC車載器を取り付けていなかったため(取り付けていなかったのは、3年前に家族から「有料道路の使用頻度が低いからETC車載器なんかいらぬ。」と言われたためだったのですが。)、ETC車載器の入手が一苦労でした。

カーショップに行きましたが、ETC車載器は完売状態で、予約を入れたもの「290人待ちです。これまでの入荷ペースからすると取り付けは10月から11月になりそうです。」と言われ、半ばあきらめていました。ところが、加入していたクレジットカード会社がETC車載器のキャンペーンを始め、それに申し込んで、ようやくETC車載器の取り付けができました。(カーショップの予約はキャンセルしましたが。)

「大都市近郊区間以外は上限1,000円」の恩恵は大きく、約600kmの走行距離で、出口においてカーナビが「料金は、12,200円です。」と言っているにもかかわらず、ETCのゲートに1,000円と表示されるのは快感でした。また、8月9日に帰省(下り)、13日に戻り(上り)としたことで大渋滞も回避することができました。一方、誤算だったのが土産品です。

仙台の某有名銘菓を、帰省の前日に池袋のアンテナショップまで電車で買いに行ってから帰省したのですが、仙台の近くの菅生パーキングエリアにたくさん売っていました。このことを事前に知っていれば、わざわざ池袋まで行く必要はありませんでした。



(編集子:PAO)

[ページの先頭に戻る](#) ▲